

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	020104030	予算コード	01050500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	小学校介助事業			正規職員数 0.35	国庫支出金 0	有効性	A	介助が必要な児童生徒は年々増加している。様々なケースがあるためきめ細やかな充実した介助が必要なため。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数 0.1	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0.1	市債 0	効率性	B		
	■要綱・要領			歳出(千円)	その他 0	妥当性	B		
	泉佐野市人権教育の基本方針			人件費総額 3,593	一般財源 85,479	減価償却費 0			
					事業費 81,886	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 85,479	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円) 850			介助員の配置		
対象				活動指標	H30実績	公的関与	A		
特定の市民		対象数	154	障がい児介助員	81.0				
小学生の要介助児童				外国人介助員	8.0	実施主体・委託化	A		
事業の内容	小学校介助事業として以下のように実施している。 ①障がいのある子どもに対する介助 ②介助については、身辺自立ができない、安全確保が困難である等、教育的配慮の要する子どもに対しての措置 ③外国からの転入生による受入のため、通訳の配置			成果指標	H30実績	他の事務事業との関連	A		
				要介助障がい児	143.0	透明性	A		
				要外国人介助者	11.0	財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
事業の目的	障がい等で配慮の要する子どもへの身辺介助等をする。			コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				介助者一人当たり経費	555,058.4				